

㈱オロチ第2工場の構造説明見学会が行われました

日南町産材料でLVL(単層積層材)製品を製造する㈱オロチでは、4m対応のスカーフジョイント(木材繊維を斜めにカットして端部をつなぎ合わせる装置)を導入する第2工場棟の建設工事を昨年10月より開始、平成27年1月30日に関係者向け構造説明・見学会を実施しました。



現在、オロチ第1工場では3mスカーフジョイントが稼働中(製品ベースで1,500立米の供給能力)ですが、市場での4m材などの需要の高まりを受け、設備増強を行う事となりました。

(これにより、製品ベースで2,000立米の供給が可能となります)建設された第2工場の建物は21×26.5m、高さ10mの大きなものです(バスケットコート大きさが28m×15mくらいです)、オロチ製LVL材・㈱グランドワークス製締結金具を使用して建築します。これにより、大空間の無柱建物が可能となり、工場のような大型設備を導入する現場での使用も可能となりました。

見学説明会には、建築関係の商社、工務店、行政関係者、報道関係者など約100名が参加。午前と午後の2回に分けて資料説明が行われ、工場に場所を移しての見学会となりました。また、この工法は地元の木材を使用していること、地元の設計事務所・プレカット工場・工務店による建築が可能であり、地域の産業に大きく寄与することも説明がありました。

新工場・工法の説明会を通して、森林のまちとして林業を支えていく日南町の姿をPR出来たかと思えます。私たちも森林資源の最大活用と地域の活性化を目指して取り組みを進めていきます。

宮本芳満氏、全国林業推進行事にて林野庁長官賞を受賞される

平成26年11月21日に東京都で開催された平成26年度全国林業経営推奨行事で、宮本芳満さん(日南町丸山)が林野庁長官賞を受賞されました。この賞は、一定面積(3ha)以上の森林を管理・経営し、かつ地域貢献している特に優秀な林業経営者について、公益法人大日本山林会が選定するもので、今年度は鳥取県では唯一人、宮本さんが受賞されました。

※大日本山林会は、明治15年に創立された日本で最も長い歴史を持つ伝統ある林業団体です。

受賞式には秋篠宮文仁親王殿下が御臨席され、華やかに執り行われたそうです。

その後の祝賀パーティーでは宮本さんのテーブルに殿下が回ってこられ、会話を交わされたそうです。



全国林業経営推奨行事の式典会場にて

(写真左:大日本山林会会長 写真右:宮本芳満さん)

平成27年1月25日には、日南町林業総合センターにて受賞祝賀会が開催され、日南町長はじめ行政関係者、林業関係者が多数の参加があり、今回の受賞をお祝いしました。